

平成29年度 財務管理部長「政策宣言」達成状況

財務管理部長 橋 詰 通

○ 平成29年度重要事業

事業名	効果的・効率的な財政運営
目 標	<p>市が取り組む施策に重点的に投資するため、国や県との連携を図り、事業の「選択と集中」を推し進めます。</p> <p>また、計画的な繰上償還や新たな財源を確保するなど、後年度財政負担をも見据え、効果的・効率的な財政運営に努めます。</p>
年度末達成状況	<p>平成30年度当初予算編成では、「子育てや学びがもっと楽しくなるまち」を目指し、事務事業等の見直しをはじめ、国・県補助金や有利な起債を活用するなど、活気あふれる射水の新時代創生につながる事業に重点的に予算配分しました。</p> <p>また、市債の繰上償還（約7億円）や債務の繰上返済を行うなど、後年度負担を軽減させ、健全財政の堅持に努めました。</p>
自己評価	<p>目標は概ね達成できましたが、今後も厳しい財政状況が続くため、引き続き、将来を見据えた財政運営に努めていきます。</p>

事業名	防災・減災対策の推進
目 標	<p>県が新たに公表した津波シミュレーション調査結果に基づき、本市の津波ハザードマップの見直しに着手するとともに、指定緊急避難場所も再点検します。</p> <p>また、災害時に迅速かつ的確に避難・救援できるよう、新庁舎整備に合わせ構築したデジタル防災行政無線を効果的に運用するとともに、職員の初動対応訓練を実施するなど、応急対策の強化を図ります。</p>
年度末達成状況	<p>県が新たに指定した津波災害警戒区域等を踏まえ、指定緊急避難場所の再点検を行い、本市の津波ハザードマップを更新しました。また、デジタル防災行政無線を活用した総合防災訓練や避難所開設・運営研修、職員参集訓練などを実施し、系統立てた臨機の対応を確認しました。</p>
自己評価	<p>各種訓練を通じ、災害発生時の初動体制の確立に努めました。</p> <p>今後は、更新した津波ハザードマップを活用し、津波災害等について市民への周知啓発を行うなど、防災・減災意識の高揚を図ります。</p>

事業名	安定した税財源の確保
目 標	<p>公平・公正な課税を実施するとともに、未納催告の強化、適正な滞納処分の執行などにより徴収率の向上を目指します。</p> <p>また、特別徴収への移行促進、口座振替、コンビニ納付・クレジット納付など、納付環境の充実に努めます。</p>
年度末達成状況	<p>今年度の収納率は、過去最高であった昨年度の96.5パーセントをさらに上回る見込みです。特別徴収の実施率は、県内で最も高くなるなど、従来からのコンビニ・クレジット納付と併せて、納税者が納付しやすい環境整備に努めました。</p>

自己評価	市税の多様な納付環境を整備し、啓発と利便性向上を図ったことから、収納率の向上につながりました。 今後とも、公正かつ適正な収納管理に努めていきます。
------	--